



平成27年 年頭のご挨拶

一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会 会長

谷口 博昭



新年明けましておめでとうございます。旧年中は、関係各位、会員の皆様のご指導、ご支援、ご協力を戴き滞りなく各種業務を執行する事ができました。ここに厚く御礼を申し上げる次第です。

さて本年は連合会・JCM発足後23年目、21世紀15年目となります。グローバル化の進展、少子高齢化・人口減少等大きな変化の時代です。大きな変化に適切に対応しつつ、技術力及び社会的地位の向上、施工及び施工管理の技術の発展、工事の安全・品質及び効率の向上等の定款にあります目的に沿い着実な成果を上げて行きたいと存じます。以下に、所感を述べて新年のご挨拶と致します。

まず、技術力の向上です。材料、施工機械、IT、ロボット等々各分野における技術は日進月歩、進化し続けています。また、建設事業は現場毎に異なる様々な事業を実施するが故に、現場力が必要不可欠です。現場に忠実に寄り添い関係者全体の理解と協力を得ながら技術力の向上に取り組む事が肝要です。JCMでは、技術力の向上に資するためCPDSに重点的に取り組んできています。

施工及び施工管理、工事の安全・品質及び効率についても同様ですが、現場毎に地形・地質、気候・気象条件等が異なるため、施工の進捗に応じて予期しない

事態が発生する事が多いのが現実です。現場力を発揮し迅速に効果的な対策が取れることが望まれます。官、民夫々と官民間において、トップ、ミドルと現場との不断のコミュニケーションの向上による信頼関係構築が肝要であります。現場のインセンティブが働けば技術力の向上にも繋がります。土木施工管理技士の果たす役割は大きいものがあります。

次に、社会的地位の向上のためには、くらしや経済に貢献してきた実績を誇りに建設界に対する誤った認識を払拭し今後とも社会貢献し社会に正当な評価を受ける事が肝要です。復興の加速、防災・減災等国土強靱化、インフラの維持更新、地方創生、都市再生等多様な地域のニーズを的確に把握、対応し、地域の安全・安心と雇用・経済を支え、「ひと・まち・しごと創生」＝「地方創生」に資することが求められています。建設界が持続するためには、昨年成立した所謂「担い手三法」により適正な利益を得、若者の入職、定着、安定的な経営基盤の確立と、それを可能にする受発注者のパートナーシップ精神が不可欠であります。

関係各位、会員のご指導、ご支援、ご協力を改めてお願いするとともに、新年が皆様方にとって幸多い年となる事を祈念し年頭の御挨拶と致します。